



令和3年度 第2回
町 民 懇 談 会
=ダイジェスト=



金ヶ崎町企画財政課

去る11月11日から26日にかけて行いました「町民懇談会」の内容をお知らせします。多くの皆様にご参加いただき、ありがとうございました。(総参加者数164名(うちウェブ参加41名))

I 開催日程

11月11日(木)	南方地区生涯教育センター	【参加者：22名(うちウェブ参加9名)】
11月15日(月)	街地区生涯教育センター	【参加者：37名(うちウェブ参加9名)】
11月16日(火)	三ヶ尻地区生涯教育センター	【参加者：27名(うちウェブ参加8名)】
11月18日(木)	西部地区生涯教育センター	【参加者：28名(うちウェブ参加5名)】
11月25日(木)	北部地区生涯教育センター	【参加者：24名(うちウェブ参加4名)】
11月26日(金)	永岡地区生涯教育センター	【参加者：26名(うちウェブ参加6名)】

II 時 間 各会場とも午後6時30分～

III 報 告

- (1) 町財政の状況と今後の見通し
- (2) 今後の地域づくりについて
- (3) 金ヶ崎町水道事業の現状と今後について
- (4) 新型コロナウイルスワクチン接種について
- (5) 金ヶ崎町内工業団地等の計画地について
- (6) 令和3年度スポーツ健康まちづくり事業について

IV 意見交換

地域課題について

- 南 方 「除雪について」
- 街 「高齢化に伴う諸課題について(空き家・除排雪・防災・地域担い手不足等)」
- 三ヶ尻 「自治会加入に関して」、「高齢化、一人暮らし高齢者に関して(ごみ、草刈等)」
- 西 部 「農業について(米価下落等の収入不安定について)」
- 北 部 「防災対策について」
- 永 岡 「鳥獣被害について」

主な意見・質問と回答

除雪体制について

【質問】 昨年度の豪雪を踏まえ、今年度はどのような体制をとるのか。

【回答】 除雪体制の維持強化に向け、春先から取り組んでいます。今年度は、建設業者1社撤退となったところですが、機械を所有している運輸会社などに打診し、昨年同様に業者14社、除雪車55台の体制となりました。

除雪要望に対する早期対応、事務の効率化という点では、今年度から各除雪機械にGPSの機能を持たせ、リアルタイムで除雪機状況を確認できるようなシステムを入れることにしています。

そのほか、県と協議し、一部の県道と町道を交換して除雪することにし、手が空いた部分で日中の町場の除雪に対応したいと考えています。

【意見】 水路に水を流しておいてもらえば、排雪ができるが、対応は可能か。

【回答】 雪を流すにはかなりの水量がないと、暗渠などで詰まって水が溢れるという恐れがあります。したがって、水路に水を流して対応するのは難しいと考えています。

【意見】 工業団地へ行く大型トラックに対し、チェーンの装着を促すことはできないか。

【回答】 企業側では、今年度、万全の対策をとろうということで現在検討しています。町からも、あらためてお伝えしていきたいと思います。

行政区の区割りについて

【意見】 高齢化に伴い自治会役員の担い手がなく、輪番制で強制的にやっている実態がある。コロナ禍で各種行事が中止され、楽になった部分もあるが、行政区のあり方、区割りなども広い目で考えていかなければならない時期にきていると思う。

【回答】 行政区の区割りについては、問題意識としてもっております。すぐにというわけにはいきませんが、検討を進めていきたいという考えです。

人口減少対策について

【意見】 金ケ崎町の持っている素材を考えると、外部からの定住促進はまだまだ可能性がある。町に定住しない方の要因を、もっと考えてみる必要があるのではないか。補助金だけでなく、公園や託児施設の整備などプラスアルファの要素を加えるなど、若い世代の人に、金ケ崎で生活すれば子育てにも安心だなと感じてもらえるような部分をうち出し、積極的にPRするような施策が必要だと思う。

【回答】 金ケ崎町の状況を見ますと、転入者による社会増がありますが、人口減少の大きな原因は、生まれてくる人が少なく、自然減になっているということがあります。構造的な課題に対し、町の魅力のある施策を出し、金ケ崎で暮らしやすい環境づくりを総合的に考えていきたいと思っています。

学校施設の維持について

【意見】 町内に小学校が5校あるが、統合を考えていく時期にきていると思う。近隣市では取組みが進んでいる。学校がなくなるとその地域に根差した部分が失われるという点で抵抗はあると思うが、子供の教育環境という視点で考えると、切磋琢磨しながら学べる環境がよいと感じる。

町外から転入してきて、子育てをしながら生活していこうと考えた時に、やはり恵まれた教育環境で子どもたちが学べることも重要だと思う。

【回答】 若い世代が定住先を考える上で、教育環境も大きな要素であると考えています。少子化が喫緊の課題になっており、このまま子どもの数の減少が進めば、複式学級となる学校も出てくると思われます。子どもの視点に立ち、よい環境のもとで、学んでいくことが大切と考えており、町民全体の課題として、皆さんにも参加いただきながら、今後の学校教育環境をどう整えていくか検討しなければならない時期にきていると捉えています。具体的な計画はまだ持ち合わせていませんが、そのような方向で進めていきたいと考えています。

自治会の役割について

【意見】 高齢者の資源ごみ搬出が困難になり、自治会で対応する事例がでてきている。自治会でどれだけ踏み込んでいけるものなのか。また、支援が必要な人が増えれば増えるほど、役員の負担も増え、ますます自治会の役員のなり手がなくなるのではないかと懸念している。

【回答】 自治会内でも課題が増え、役員のなり手も減っているという現状があると思います。役員が集まり、活動や課題について話し合いの場を持たれているかと思いますが、一度にたくさんの課題に対処するのは負担感も多いと思いますので、優先順位をつけながら対応を考えていくことも必要と考えています。地区センターの地域づくり支援員にもご相談いただきながら、まずは話し合う機会を作っていくことが大切と考えています。

地区センターの事業としても、地域の課題を解決していくため、自治会活動でできること、自治会以外の助け合いの仕組みづくりなど、各種の学習機会を設けながら、皆さんの活動をサポートしていきたいと考えています。

各種委員等の見直しについて

【意見】 高齢化や自治会に加入しない世帯の増加に伴い、これまで対応してきた委員等を自治会員の中から選出するのが困難になってきている。委員の必要性、活動内容、人数など検討してほしい。

【回答】 委員等が多すぎる、必要なのかという声いただいているところです。課題としてとらえ、対応を進めていきます。

公共交通(田園バス)の運行について

【意見】 冬季間は安全面を考慮し、幹線道路を中心とした運行となっているが、雪のためかえってバス停まで行くのが大変な高齢者も多いことから、通常通りの運行とすることはできないか。

【回答】 除雪作業を行ったとして、十分な幅員が確保できず、事故の危険性もあることから、安全性を考慮し、幹線道路のみの運行となります。ご理解をお願いします。

鳥獣被害対策について

【質問】 イノシシやシカ等による農作物への被害が増加してきているが、どのような対応を行っているのか。

【回答】 猟友会と連携しながら、罠を設置するなどの対応をしているところです。また猟友会の会員も高齢化が進んできていることから、新たに加入する方を増やしていくため、資格取得や猟銃等の費用の補助を行っています。

防災マップとため池ハザードマップの関係について

【意見】 防災マップのほかに、ため池のハザードマップが作られているが、どのような関連があるのか。ひとつにまとめた方がよいと思う。

【回答】 防災マップでは、大雨が降ったときの河川の浸水想定区域や土砂災害の危険がある区域を示したものです。ため池ハザードマップは、満水時に地震等でため池が決壊し、一気に水が流れたときの浸水想定区域となっています。

万が一、大雨でため池が満水になったときに地震が発生して決壊した場合、河川の氾濫と、ため池の決壊による浸水が同時に起こる可能性はありますが、マップとしてひとつに合わせると、見づらくなることもあり、別々に作成しているところです。双方を使用しながら、周知を図っていきたいと考えています。

広域水道の受水について

【質問】 千貫石浄水場を更新せず、令和 22 年度に廃止ということだが、なぜ今後 20 年近く使い続けるのか。施設が古くなれば維持費もかかると思うが、なぜそれまで広域水道を受水しないのか。

【回答】 広域水道を受水するためには、配水管のルート等の整備が必要であり、老朽管の更新なども行っている中で、一度には整備ができません。千貫石浄水場は、今後 15 年先くらいには、耐用年数を迎え、更新が必要な時期になることから、それまでは千貫石浄水場を修繕して使用しながら、その期間で配水管等の整備を行い、広域水道を受水することとしています。

※質問・回答・意見については、要約して記載しておりますのでご了承願います。

お問い合わせ／企画財政課 政策係 ☎0197-42-2111(内線 2325)